

学長／教授 吉瀬 献策（きちせ けんさく）

最 終 学 歴	早稲田大学国語国文学専攻科 修了
学 位・資 格 等	高等学校教諭二級普通免許状（国語）、高等学校専修免許状（国語）、中学校教諭一級普通免許状（国語）
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし 【学術論文】 特になし 【その他】 令和3年度北海道高等学校長協会後期 研究協議会実践発表		2022年1月		

副学長／教授 中島 元子（なかしま もとこ）

最 終 学 歴	岩手大学工学部応用化学科 卒業
学 位・資 格 等	高等学校教諭1種免許状（理科）
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし 【学術論文】 1. 「科学のしくみを教える工夫」を手 がかりとした領域「環境」の指導法へ の示唆－保育者をめざす学生と園児の 科学実験－ 【その他】 特になし	共	2025年3月	修紅短期大学紀要 第45号 1-20	中島元子 館山壮一

学科長／准教授 館山 壮一（たてやま そういち）

最 終 学 歴	神戸大学大学院経済学研究科総合経済政策専攻博士後期課程 単位取得満期退学 岩手県立大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻博士後期課程 修了
学 位 ・ 資 格 等	博士(社会福祉学)、修士(経済学)
所 属 学 会	日本保育学会、東北経済学会、日本消費経済学会、地理情報システム学会、日本都市計画学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共 著 の 別	発 行 又 は 発 表 の 年 月	発 行 所 ・ 発 行 雑 誌 等 又 は 発 表 学 会 等 の 名 称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. 「科学のしくみを教える工夫」を手がかりとした領域「環境」の指導法への示唆－保育者をめざす学生と園児の科学実験－	共	2025年3月	修紅短期大学紀要 第45号 1-20	中島元子 館山壮一
2. 児童養護施設の財務的特徴と課題	単	2025年3月	修紅短期大学紀要 第45号 31-40	
3. 保育園の経営戦略についての一考察：R・ルメルトの戦略論をもとに	単	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号 23-33	
4. 子ども家庭ソーシャルワーカーの課題と国家資格化へ向けたソーシャルワーク理論の必要性（研究ノート）	共	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号 9-21	館山壮一 千葉正
5. 小規模農村集落における農福連携事業の研究 －持続可能な事業戦略の構築－ （博士論文）	単	2023年3月	岩手県立大学	
6. 農村型地域運営組織のあり方に関する考察 －農村RMOと農福連携の活用を視野に入れて－	単	2023年3月	修紅短期大学紀要 第43号第2分冊 31-46	
7. 学生が考案したダンス指導の分析による領域「健康」の指導法への示唆	共	2023年3月	修紅短期大学紀要 第43号第2分冊 47-56	千葉正 館山壮一
8. 地域共生社会の実現に向けた新しい農福連携のあり方について	単	2022年9月	修紅短期大学紀要 第43号第1分冊 1-14	
9. 農福連携事業の法人化戦略について －地域運営組織の社会福祉法人化の提案－	単	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 13-26	
10. 福祉的就労において農福連携が果たす意義と役割	共	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 1-12	館山壮一 宮城好郎
11. 保育所を運営する社会福祉法人の持続可能性戦略に関する考察 －損益分岐点分析を通して－	単	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 37-44	
12. 農福連携研究の展望と行政支援の現状（査読付き）	単	2022年3月	東北経済学会誌第75巻1号	
【その他】				
1. 保育観の多様性と実習生の自己成長プロセス－保育者の資質と専門性の向上を目指して－		2025年8月	全国保育士養成セミナー全国大会	

2. 保育観の多様性と実習生の自己成長プロセス-保育者の資質と専門性の向上を目指して-		2025年4月	全国保育士養成協議会東北ブロック総会	
---	--	---------	--------------------	--

教授 千葉 正（ちば ただし）

最 終 学 歴	城西大学経済学部経済学科 卒業 日本体育大学大学院体育科学研究科博士課程 研究生修了
学 位・資 格 等	経済学士、日本スポーツ協会公認バレーボール(コーチ4)
所 属 学 会	日本体育学会、日本発育発達学会、日本体力医学学会、バレーボール学会、トレーニング科学学会、日本スポーツ健康科学学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発 行 所 ・ 発 行 雑 誌 等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】 1. 子ども家庭ソーシャルワーカーの課題と国家資格化へ向けたソーシャルワーク理論の必要性	共	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号	館山壮一 千葉正
2. 学生が考案したダンス指導の分析による領域「健康」の指導法への示唆	共	2023年3月	修紅短期大学紀要 第43号第2分冊 47-56	千葉正 館山壮一
【その他】 特になし				

教授 菊池 武剋（きくち たけかつ）

最 終 学 歴	東北大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程 単位取得退学
学 位 ・ 資 格 等	文学修士
所 属 学 会	日本心理学会、日本教育心理学会、日本発達心理学会、日本キャリア教育学会、日本犯罪心理学会、東北心理学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 1. 解説キャリア教育	単	2023年4月	(株) 実業之日本社	
【学術論文】 特になし				
【その他】 特になし				

教授 小山 祐二（おやま ゆうじ）

最 終 学 歴	宇都宮大学教育学部小学校教員養成課程 国語専修 卒業
学 位 ・ 資 格 等	教育学士
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】 1. 連携を学校経営の柱にした教職員の 人材育成について	単	2021年9月	令和3年度全国特別支援学級・通級 指導教室設置学校長協会第58回全 国研究協議会岩手大会研究紀要 40-41	
【その他】 校内研究会講師 1. 文学的な文章の基本的な読み方	—	2021年11月	一関市立山目小学校研究会	小山祐二

准教授 中尾 彩子（なかお あやこ）

最 終 学 歴	文京学院大学大学院人間学研究科心理学専攻心理学コース 修了
学 位 ・ 資 格 等	修士(心理学)
所 属 学 会	日本心理学会、日本発達心理学会、日本応用心理学会、日本保育学会、日本保育者養成教育学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 1. 応用心理学ハンドブック	共	2022年9月	福村出版(株) 第3章 Topic7 124-125	藤田主一 古屋健 角山剛 谷口泰富 深澤伸幸 小林剛史、他
【学術論文】 1. 追記とともに育む森林教育 ー自然を活かした学びのかたちー	単	2025年3月	修紅短期大学紀要 第45号 21-30	
2. シールを用いた週案とその振り返りを 保育実践につなげる検討	単	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号 1-8	
3. ウェアラブルカメラ映像を用いた保育 実践の共有と相互理解の試み	単	2022年3月	修紅短期大学紀要 第42号 27-36	
【その他】				

助教 皆川 理奈（みながわ りな）

最 終 学 歴	東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程 修了
学 位 ・ 資 格 等	修士(美術)
所 属 学 会	なし

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】				
1. 幼児期における内発的な創造欲求を 醸成させる環境と援助活動の構築 ー五感を通した体験が発見意識と造形 表現に発展するためにー	単	2024年3月	修紅短期大学紀要 第44号 35-54	
2. 表現の場としての展示を考える ー造形活動のその先ー	単	2023年3月	修紅短期大学紀要 第43号第2分冊 51-63	
3. 幼児期における内発的な創造欲求に ついての視点と考察	単	2022年9月	修紅短期大学紀要 第43号第1分冊 15-21	
【その他】				
1. 皆川理奈演出合同作品展 「今日も明日も」	単	2023年1月	一関文化センター 小ホール	

助教 岩渕 愛 (いわぶち あい)

最 終 学 歴	上越教育大学大学院学校教育研究科教科・領域教育専攻芸術系教育実践コース（音楽）修了
学 位 ・ 資 格 等	修士(教育学)
所 属 学 会	日本音楽表現学会

■研究業績(過去5年)

著書・学術論文等の名称	単 著 ・ 共著の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所・発行雑誌等 又は発表学会等の名称	共 著 者 ・ 発 表 者 等
【著書】 特になし				
【学術論文】 特になし				
【その他】 特になし				